

# 英語論文ワークショップ

2019年 **2**月**9**日 **土** 13:00 ~ 17:00

場所：文教キャンパス グローバル教育・学生支援棟 G38教室  
(文教スカイホールと同じ建物の3階です)

どんなにすぐれた研究内容と研究成果でも、論文原稿の中で言葉や表現のミスが重なると、研究を理解してもらうことが妨げられ、アクセプトがかなえられません。本ワークショップでは、英語論文執筆に関して数多くの指導経験を持つDavid Kipler先生（カクタス・コミュニケーションズ（株））をお迎えし、サイエンスライティングにとって重要な文法と用法、正確な句読点等の付け方、適切な文やパラグラフの構造の選択法などをご講義いただきます。演習も組み込まれており、確実にスキルを身につけることができます。文系・理系問わず学べる内容です。奮ってご参加ください！

## 内容

1. Grammar and Usage  
専門分野やジャーナル毎に、文法は様々な用法上の慣習があります。重要な文法と用法の諸要素をお伝えします。
2. Punctuation  
明瞭なライティングには、一貫性があり、賢明な句読点の付け方が求められます。句読点の原則と役割、よくある間違いについてお話しします。
3. Sentence Structure in Science/Technical Writing  
適切な文の構造の選択がライティングのクオリティを高めます。効果的な文の作り方、重要な情報の強調の仕方やより明瞭にする方法をご説明します。
4. Structuring Your Research Article  
明確で分かりやすい論文になるために、特にIntroductionとDiscussion部分では、複雑又は曖昧なパラグラフの構造を避けたい。分かりやすい構造とスタイルをアドバイスします。

※本セミナーは英語で行われます。

## 対象

- 本学教員
- 本学大学院生  
博士後期課程  
5年一貫専攻

## 事前登録



<http://ur2.link/Oyhq>

- 定員30名程度  
(定員になり次第受付終了)

## 参加無料



## David Kipler氏 カクタス・コミュニケーションズ株式会社

学術出版トレーナー・コンサルタント。

2005年、BELS (Board of Editors in the Life Science) 校正者資格を取得し、英語のリーディング・ライティング、医学英語の講師として豊富な経験を有します。また、生物医学の出版分野に長くかわり、Journal of Epidemiologyを初めとする日本の様々な学術誌の言語エディターを務める経験があります。